

### Ⅲ. 各種機関との交流

#### 1. 2. 1. 平成 19 年度 環境再生活動の視察

##### 源兵衛川視察

- ・ 静岡県三島市を流れる全長 1.5km の農業用水路
- ・ 1960～1980 年代には家庭雑排水の流入とゴミの放置により水辺環境が悪化
- ・ 市民活動による水辺環境の再生
- ・ 特定非営利活動法人グランドワーク三島による視察の案内

(特定非営利活動法人グランドワーク三島のHPより抜粋)

以上より、河北潟の水辺環境再生の手懸かりとなればと視察を行った。



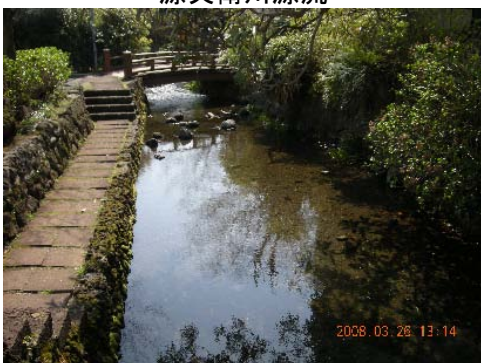
三島駅前湧水

富士山の麓、三島市には多くの湧水があり、「水の都・三島」の由縁が伺えた。元来この地の人々は水と親しんだ生活を送ってこられたのであろうから、水辺再生活動の起こりは当然のことと思われる。



源兵衛川源流

源兵衛川の源は大切に囲われており、農業用水としての大切さが伺える。



水際に降りる階段

石垣が苔生しており、昔から水辺に親しまれていたことが伺える。



源兵衛川の清掃

定期的に川を清掃しているようで、川の中を通る橋から、きれいな川底が良く見えた。此の辺りは住宅を通過しており、昔はごみが多い区間だったようで、未だ取り残した茶碗の破片が見られて環境再生の難しさが現れていた。



雷井戸

かつては、簡易水道として飲用にされていた湧水だが、湧水量や衛生面から、利用されなくなり、現在は源兵衛川に流れ込むだけである。しかし、井戸は保存され、案内看板も設置され、親水に一役買っていた。



源兵衛川で遊ぶ子供達

川が澄んでいると、日常的に子供達は川に入って遊ぶようである。このように原風景を体験した子供達は、大人になっても自然を大切に、次世代に受け継いで行くであろう。

現在の源兵衛川は、散歩を楽しんだり、子供達が遊んだりする住民達の憩いの場にとどまらず、観光客が訪れても楽しめる橋や景観が作られており、また、我々のような水辺再生を目標とする視察団が訪れても、参考になる空間であった。以下が学んだことである。

- ・ かつての生活に密着した川を取り戻したいという住民の強い意識が原動力。
- ・ 経済面や指導における行政の協力が必要。
- ・ 川を汚さないという近隣住民の意識改革。
- ・ 自分たちの川という意識を持った清掃ボランティアのおかげによる川の維持。
- ・ 随所に盛り込まれた、川と親しむだけでなく、川と遊べる空間作り。

河北潟でも、このように人の繋がりを重視して水辺再生に取り組みたいと考える。